

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



SSKP

いずみ

No.

174

2014年9月

* 社会福祉法人 泉会 *

法人本部
泉の家〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号
☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463
izumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/

泉会事務局

〒157-0073 世田谷区砧8丁目32番3号
メゾン成城202号
☎03(5429)6721(代) ☎03(5429)6722
info@izumikai.jp
http://izumikai.jp/日の出舎
就労日の出舎
相談日の出舎〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205
info@hinodesha.org
http://hinodesha.org/グループホーム
いずみ〒197-0825 あきる野市雨間322-12
☎☎042(550)9083岡本福祉
作業ホーム〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976
okamoto@izumikai.jp
http://izumikai.jp/岡本福祉
作業ホーム
玉堤分場〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号
☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433
tamaturumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)
二〇一四年八月一日発行(SSKP通巻五七九四号)

● 本年度の聖句

わたしは神が宣言されるのを聞きます。

主は平和を宣言されます

御自分の民に、主の慈しみに生きる人々に

彼らが愚かなふるまいに戻らないように。

(詩編85編9節)



思い出のいちご狩り(泉の家)

歴史に学ぶ姿勢

理事長 佐分利 正彦



私は1941年4月に生まれました。日米開戦の8ヶ月前のことです。

戦時中の記憶はほとんどありませんが、それでも、4歳になった1945

年頃に、空襲警報が鳴って夜中に防空壕に入ったことや、空襲が激しくなると鶴川の農家(現在は町田市)に母と妹弟と共に疎開したことは、はっきりと記憶に残っています。

その後、40歳をかなりすぎた頃に、終戦の時に何を思ったか、母に尋ねたことがあります。母は少し考えて、私と弟が戦争に行かなくても良くなるとホッとした、と答えました。母は生きていれば今年で97歳になります。母と同年代の人々、特に女性が日本の現状を知ったならば、どの様な感想を持つであろうか、と昨今考えています。

泉会の今年の聖句がこのページに掲げられています。読者の中には、社会福祉法人泉会の活動とこの聖句との関連について疑問を感じられた方もあるかもしれません。私がこの聖句を取って取り上げたのは、最近の政治の動きと無関係ではありません。

戦前の軍備が最優先事項であった時代には、障がい者は差別される存在でした。極端な例として、ナチスが障がい者を社会から排除しようとしたことが思い起こされます。二十一世紀の今日、このようなことが繰り返されることは無いとは思いますが、しかし、障害者福祉に対する施策が、今後現状より後退する可能性はゼロではありません。このような想像が杞憂に終わることを祈るものです。

2013年度 決算報告

事業報告

2013年度も障がい者関連法の新
規制などが相次ぎ障がい者を取り
巻く環境は大きく変わりつつありま
す。そうした中、泉会は地域福祉の担
い手として障がい者の自立に向けて多
様な活動をしました。その主な内容に
ついてお知らせします。

法人本部

- 1 法人本部事務所の開設準備に取
り組みました。
- 2 法人及び各施設の3か年（2014
年～2016年）計画の作成に着
手しました。

泉の家

- 1 施設運営の向上のため東京都福祉
サービス第三者評価を受審しまし
た。
- 2 就労継続支援B型事業では犬用
クッキーとミサंगा販売額が前年
度比89.3%でした。受託作業で
は受注額が前年度比107.5%で
した。喫茶の売り上げも前年度比
122%でした。

日の出舎・就労日の出舎・通所ホーム・
相談日の出舎

- 1 日の出町から特定相談支援事業者
の指定を受けて相談支援事業を
開始しました。
- 2 東京都からの補助を受けて木質
ペレット製造機の導入手続きを進
めました。

グループホームいずみ

世話人を中心に入居者4名の方の
日常生活（食事・入浴・清掃・余暇等）
の支援をしました。

世田谷区立岡本福祉作業ホーム・
玉堤分場

- 1 生活介護を中心に支援プログラ
ムの見直しなどを行い、個別支援計
画と運動させながら利用者の多様
なニーズに対応しました。
- 2 緊急時の連絡体制の検討、防災備
品の充実、車いす利用者の階段での
避難訓練などを行うなどリスクマ
ネジメントの向上を図りました。

泉の家		定員	現員
利用人数	生活介護	20名	21名
	就労移行支援	6名	0名
	就労継続B型	25名	22名
	就労移行支援 就労継続B型		0円
平均工賃		11,507円	

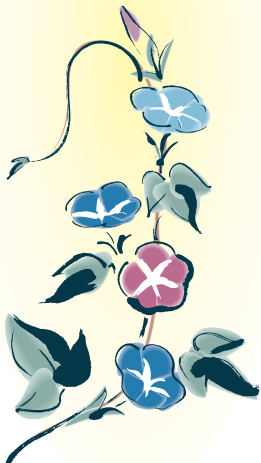
日の出舎		定員	現員
利用人数	施設入所	45名	46名
	生活介護	45名	46名
	就労継続B型	20名	23名
	就労継続B型		29,126円
平均工賃			

いずみ		定員	現員
利用人数	生活介護	4名	4名

事業活動収支計算書

日の出舎 (単位：円)		グループホーム (単位：円)		本部 (単位：円)	
サービス活動増減の部		サービス活動増減の部		サービス活動増減の部	
収益		収益		収益	
就労支援事業収益	9,581,978	就労支援事業収益	0	就労支援事業収益	0
障害福祉サービス事業収益	290,130,548	障害福祉サービス事業収益	0	障害福祉サービス事業収益	0
自立支援給付費収益	213,148,868	重度身体障害者GH事業収益	17,073,922	重度身体障害者GH事業収益	0
利用者負担金収益	130,200	経常経費寄付金収入	0	経常経費寄付金収入	0
補正給付費収益	10,566,027	サービス活動収益計(1)	17,073,922	サービス活動収益計(1)	0
特定費用収益	23,993,854	費用		費用	
その他の事業収益	42,291,599	人件費	0	人件費	2,251,289
経常経費寄付金収入	354,000	事業費	5,639,019	事業費	567
サービス活動収益計(1)	300,066,526	事務費	11,435,533	事務費	7,142,407
費用		就労支援事業費用	0	減価償却費	296,310
人件費	155,104,349	減価償却費	0	サービス活動費用計(2)	9,690,573
事業費	40,441,874	国庫補助金等特別積立金取崩額	0	サービス活動増減差額(3=1-2)	△9,690,573
事務費	40,866,854	サービス活動費用計(2)	17,074,552	サービス活動外増減の部	
就労支援事業費用	10,654,874	サービス活動増減差額(3=1-2)	△630	収益	
減価償却費	34,653,629	サービス活動外増減の部		借入金利息補助金収益	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	△21,480,284	収益		受取利息配当金収益	12,280
サービス活動費用計(2)	260,241,296	借入金利息補助金収益	0	その他のサービス活動外収益	624,250
サービス活動増減差額(3=1-2)	39,825,230	サービス活動外収益計(4)	630	サービス活動外収益計(4)	636,530
サービス活動外増減の部		雑収益	0	費用	
収益		サービス活動外収益計(4)	630	支払利息	0
受取利息配当金収益	84,546	費用		サービス活動外費用計(5)	0
その他のサービス活動外収益	990,215	支払利息	0	サービス活動外増減差額(6=4-5)	636,530
雑収益	990,215	その他のサービス活動外費用	0	経常増減差額(7=3+6)	△9,054,043
サービス活動外収益計(4)	1,074,761	雑損失	0	特別増減の部	
費用		サービス活動外費用計(5)	0	収益	
支払利息	0	サービス活動外増減差額(6=4-5)	630	施設整備等補助金収益	2,200,000
サービス活動外費用計(5)	0	経常増減差額(7=3+6)	0	拠点区分間繰入金収益	3,852,000
サービス活動外増減差額(6=4-5)	1,074,761	特別増減の部		特別収益計(8)	6,052,000
経常増減差額(7=3+6)	40,899,991	収益		費用	
特別増減の部		施設整備等補助金収益	0	資産評価損	0
収益		固定資産売却益	0	特別費用計(9)	0
施設整備等補助金収益	5,194,087	特別収益計(8)	0	特別増減差額(10=8-9)	6,052,000
固定資産売却益	52,498	費用		当期活動収支差額(11=7+10)	△3,002,043
特別収益計(8)	5,246,585	資産評価損	0	繰越活動増減差額の部	
費用		固定資産売却損・処分損	0	前期繰越活動収支差額(12)	39,210,122
資産評価損	111,924	国庫補助金等特別積立金積立額	0	当期末繰越活動収支差額(13=11+12)	36,208,079
固定資産売却損・処分損	1	拠点区分間繰入金費用	0	その他の積立金取崩額	80,279,082
国庫補助金等特別積立金積立額	5,194,087	特別費用計(9)	0	建設積立金取崩額	43,145,560
特別費用計(9)	5,306,012	特別増減差額(10=8-9)	0	世田谷施設整備積立金取崩額	26,883,522
特別増減差額(10=8-9)	△59,427	当期活動収支差額(11=7+10)	0	額施設整備積立金取崩額	10,250,000
当期活動収支差額(11=7+10)	40,840,564	繰越活動増減差額の部		その他の積立金積立額	82,479,082
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動収支差額(12)	250,000	施設整備積立金積立額	33,345,560
前期繰越活動収支差額(12)	334,212,066	当期末繰越活動収支差額(13=11+12)	250,000	施設運営費積立金積立額	49,133,522
サービス活動増減差額(6=4-5)	375,052,630	次期繰越活動増減差額	250,000	次期繰越活動増減差額	34,008,079
次期繰越活動増減差額	375,052,630				

岡本福祉作業ホーム (単位：円)		泉の家 (単位：円)	
サービス活動増減の部		サービス活動増減の部	
収益		収益	
就労支援事業収益	4,626,779	就労支援事業収益	4,974,758
障害福祉サービス事業収益	169,784,957	障害福祉サービス事業収益	160,015,584
補助金事業収益	1,447,720	自立支援給付費収益	92,786,104
受託事業収益	167,782,737	利用者負担金収益	446,229
その他の事業収益	554,500	特定費用収益	2,647,386
経常経費寄付金収入	10,000	その他の事業収益	64,135,865
サービス活動収益計(1)	174,421,736	経常経費寄付金収入	178,748
費用		サービス活動収益計(1)	165,169,090
人件費	107,783,013	費用	
事業費	22,294,059	人件費	79,085,806
事務費	27,575,125	事業費	13,883,653
就労支援事業費用	4,831,404	事務費	45,540,222
減価償却費	212,364	就労支援事業費用	4,975,583
サービス活動費用計(2)	162,695,965	減価償却費	17,053,492
サービス活動増減差額(3=1-2)	11,725,771	国庫補助金等特別積立金取崩額	△13,486,504
サービス活動外増減の部		サービス活動費用計(2)	147,052,252
収益		サービス活動増減差額(3=1-2)	18,116,838
受取利息配当金収益	208	サービス活動外増減の部	
その他のサービス活動外収益	155,670	収益	
雑収益	155,670	借入金利息補助金収益	112,200
サービス活動外収益計(4)	155,878	受取利息配当金収益	16,781
費用		その他のサービス活動外収益	2,399,198
その他のサービス活動外費用	970	サービス活動外収益計(4)	3,537,979
雑損失	970	費用	
サービス活動外費用計(5)	970	支払利息	1,122,000
サービス活動外増減差額(6=4-5)	154,908	サービス活動外費用計(5)	1,122,000
経常増減差額(7=3+6)	11,880,679	サービス活動外増減差額(6=4-5)	2,415,979
特別増減の部		経常増減差額(7=3+6)	20,532,817
収益		特別増減の部	
施設整備等補助金収益	0	収益	
特別収益計(8)	0	施設整備等補助金収益	744,000
費用		特別収益計(8)	744,000
固定資産売却損・処分損	3	費用	
拠点区分間繰入金費用	2,844,000	資産評価損	129,284
特別費用計(9)	2,844,003	固定資産売却損・処分損	1
特別増減差額(10=8-9)	△2,844,003	国庫補助金等特別積立金積立額	744,000
当期活動収支差額(11=7+10)	9,036,676	拠点区分間繰入金費用	1,008,000
繰越活動増減差額の部		特別費用計(9)	1,881,285
前期繰越活動収支差額(12)	24,163,413	特別増減差額(10=8-9)	△1,137,285
当期末繰越活動収支差額(13=11+12)	33,200,089	当期活動収支差額(11=7+10)	19,395,532
次期繰越活動増減差額	33,200,089	繰越活動増減差額の部	
		前期繰越活動収支差額(12)	28,022,791
		当期末繰越活動収支差額(13=11+12)	47,418,323
		次期繰越活動増減差額	47,418,323



法人新人研修報告

5月3日(土)ゴールデンウィーク初日に新人研修が行われました。泉の家から1名、岡本・玉堤から2名、日の出舎から3名、事務局より1名、それと理事長、担当の分部の合計9名が参加しました。

グループホームの見学は土曜でしたが、利用者の方は風邪気味であるにもかかわらず変わらず気持ちよく部屋を見せてくれました。グループホームという名称は知っているが、見学するのははじめてだという職員がほとんどで皆、興味深くメモを取っていました。管理人の細谷さんが「施設でできないことを行うことがグループホームの役割である」という言葉には、小集団であるがゆえに人間の成長に対して細やかな対応ができることに對して、新人職員から「目から鱗が落ちた」という発言も聞かれました。

日の出舎見学では、施設の様子などを西田施設長が細部にわたり説明しました。世田谷地区の通所施設職員

にとつては、広い施設、居室、浴室、職員の在所確認やナースコール対応のPHS所持など、はじめての見聞であったと思います。

その後の理事長講話で「隣人愛について」「天職について」の2題も、橋向前理事長の作成したレジュメ「福祉について」と合わせて話して下さいました。

新人職員の感想レポートの一部を紹介すると「自分を愛せない人は他人を愛せない、自分を大切にできない人は他人のために働くことができない。職員と利用者の関係は友人や親との関係性という視点でみるべきであろう。利用者が自分の親兄弟であつたらどうであろうか、どう対応するであろうか」「天職という言葉は理解できたがまだ余裕がない。仕事は膨大である。しかし自分に与えられた仕事を行うことで天職になるように仕事を続けたい。最初に天職ありき、ということではない。与えられた仕事を全力で取り組んだ結果それは初めて天職となるもので

法人ホームページリニューアルしました



今回のリニューアルは、泉会の基本方針である「情報公開を積極的にすすめること」を実行するために行いました。

情報が遅滞することなく掲載ができる仕組みを整え、泉会として統一したホームページを作成し、利用者を始め、情報を見たい・知りたい方に、分かりやすい内容となる様に検討して参りました。

【改定の要旨として】

1. 法人としてのホームページと事業所毎のページ、オリジナルページを含めて統合してリニューアルしたい
2. 簡単に更新することが出来るシステムを導入したい
3. 職員向け規程文書等の共有を行いたい
- 【ホームページ設置目的として】
1. 利用者、利用希望者及びその保護者、関係者に対して法人と事業所の概要、サービスについて

2. 求職者に対して法人と事業所の概要、職務内容について発信する
3. 活動内容や作業製品・喫茶サービス等を、想定顧客に向けて広告する
4. 決算情報開示や「東京都福祉サービス第三者評価」実施報告等コンプライアンスに関わる情報を発信する
5. イベントの告知を行う
6. 職員の規程文書等のペーパーレス化（最新バージョンを間違わずに照会できるようにする）
7. 職員等により最新の活動内容を発信する

以上について業者から提案をいただき選考しました。作成については、合同会社ユビキタスライフスタイル研究所 代表 萩原高行氏にコンサルタントをお願いしました。また、法人泉会のロゴマークの作



法人新人研修

ある」と研修を受け、改めて仕事に向かう姿勢を確認できたようです。

恒例の決意表明では、皆素直に自分の言葉で研修後の気持ちを述べており、とても好感が持てました。「理事長の話は忘れかけていたことであつた。なぜ自分がこの仕事を選んだかを忘れないようにしたい」

福祉職に就くうえで必要な相手との関係性と仕事に就いたばかりの時に出てくる悩みや、迷いに関しての助言を理事長講話で学んだことでしょう。

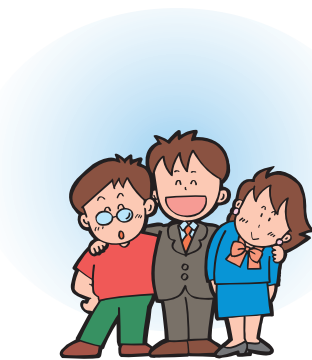
成、名刺、封筒、パンフレットの標準化、統一の取れたデザインも同時にお願ひしました。



実際のトップページでは、右側の写真の様に、泉会の歴史を伝えるメッセージがあります。1957年、「保護授産施設」当初の職員の写真が掲載されています。その他、人との共生の大切さ・皆の力を合わせる・働きがいのある職場などが、トップページに於いてスライドで映ります。

目の前の職務に汲々で自分のことも含め客観的に回りを見ることにが難しいのも無理はないと思います。しかしそこで自己覚知すべく理事長の2題に接したことは自己の振返りに大きな意味を持つことになると思います。それにしても同期はいいものだと思います。今後悩み、相談があつたら直属の先輩、上司のみならず同期同士で話し合うのもいいでしょう。研修後、誰からともなく「今度同期で飲みにいきましようよ」という言葉が出たのも微笑ましく思いました。

（泉会事務局 分部 頼文）



職員インタビューも掲載されていて、親近感のあるホームページに仕上がっています。

私共の職場は、人が支えあつて成り立っています。障がいのある・なしの関係なく共生しています。このことが伝わりましたら嬉しく思います。是非とも、ご覧になってください。

社会福祉法人泉会 ロゴマーク決定しました



ノアの箱舟の一節から、鳩がオリブの葉を啜えたビジュアルをモチーフに制作しました。

命の鼓動を表すオリブの葉と平和や安らぎのシンボルである鳩のイメージに、泉会の理念である「信頼、希望、愛」で社会をつなぎたいという願いがこめられています。

泉の家だより



「旅行の思い出」

新緑の盛りの5月25～26日、東京が梅雨入りした6月5～6日の2回にわたり、泊旅行に行ってきました。
行き先は群馬県水上地方です。『群馬サファリパーク』で昼食をとり、いよいよ動物達とご対面。
キリン、クマ、トラ、ライオン… 間近



本物のキリンにびっくり

に見る姿は迫力満点。あちらこちらで歓声が上がっていました。

宿泊先は水上温泉『ホテル聚楽』です。温泉と料理を楽しんだ後は、お待ちかねの宴会です。

デイナーショーが行われるステージでカラオケを満喫して、最後は大合唱で締めくくりました。

2日目は、イチゴ狩りの食べ放題。なんと40個も食べた方がいました。

お土産と思いがけいづまいの、楽しい一泊旅行となりました。

（島田 隆介）

日の出舎だより



「ケアホームのぞみ起工式」

2014年6月19日は日差しが明らかな暑い日になりました。あきる野市の秋川駅北口すぐ近くの社会福祉法人泉会の所有地で、理事である秋葉牧師の司式によって、ケアホームのぞみの起工式が滞りなく行われました。設計、監理の株式会社新環境設計様、芝



起工式の様子

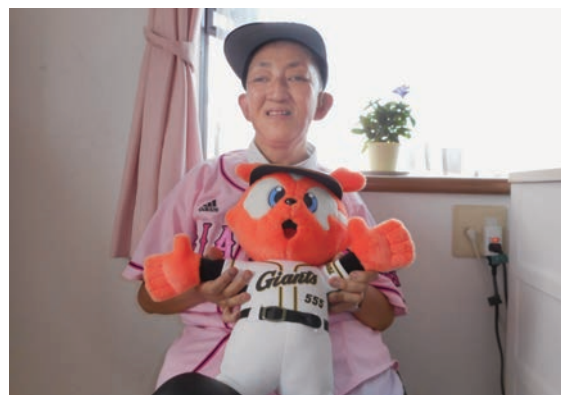
GHいづみだより



「お父さんの思い出」

児玉 恵美子さん

私はお父さんが大好きでした。
お父さんは学校の先生をしていたので、よく勉強を教えてもらいました。
お父さんは野球が好きで巨人のファンなので、小さい私をよく後樂園に連れて行ってくれました。横須賀から電車に乗っていききました。野球を見た帰りはいつもウナギを食べました。おとう



大好きなジャイアンツグッズに囲まれて

岡本ホームだより



「育てていますー」

生活介護の活動で野菜を中庭で育てており、元気に育っています。
2011年から始まった園芸作業も今年で3年目となりました。

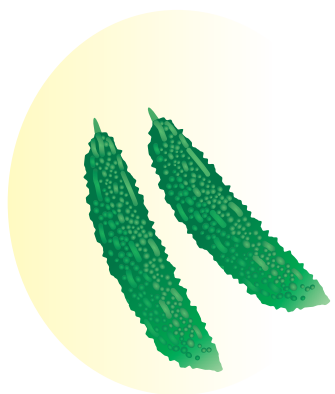
園芸作業は「楽しむ園芸」「販売用の苗を育てる園芸」の2つを目的として利用者を中心に種から育てています。今年は、ゴーヤ、きゅうり、枝豆、えんどう豆の4種類の種を蒔きました。



岡本自慢の園芸です

6月に苗の販売を行い、ご好評をいただきました。どんな実を付けるか毎日楽しみに水やりをしています。

（陶山 智憲）



玉堤分場だより



「お面の型を新しくー」

玉堤分場の紙作業製品で1番売れ行きが良いのはお面です。お面をそのまま販売するのではなくなか売れま



新作、リボンのお面を作ってます。

今年も巨人が優勝してクライマックスに行つて、日本シリーズで優勝できるように応援します。巨人が優勝して日本一になったら天国のお父さんもきっと喜ぶと思います。
ガンバレ巨人！

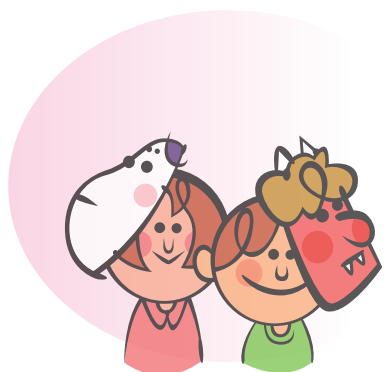
建築事務所様、施工業者の土木建設様のご参列をいただき、佐分利理事長はじめ、泉会の法人役員の方々とともに、日の出舎の利用者代表、西田施設長以下日の出舎職員も参加しました。白いテントの式場は、これまでの多くの人々の恩恵によつて、清らかな土地が現在ここにあることを示しているように思われました。神の「深い節理」と「臨在」という秋葉牧師のお祈りの言葉や讃美歌を聞きながら、業者の方々とこの得がたいご縁にも深い感銘と感謝を覚えました。

（高木 有己）

亀裂が生じてしまったりするので、定期的に新しく作り直さなければいけません。型作りの工程は、粘土で古い石膏から形をとり、その粘土の形を整えて石膏を流して新しい型を作るという流れです。そんなに難しくはないのですが、細かい調整や手直しにとても時間がかかるため地味なわりに大変な作業です。大変ではありますが、利用者の皆さんが作りやすいように、危なくないように気をつけながら、それでいてお客様により良い商品を提供できるようお願いを込めて型を作っています。

新しい形のお面も開発していますので、新商品をお楽しみに！

（伊達 紫瑞）



せんが、販売会でお面の顔描き体験を行うと、子供たちにすごい人気で、1回の販売会で100個売れることもあります。
そんな主力商品であるお面は、一つ一つ手作りで作っているのですが、お面を作るのに欠かせないのが石膏でできたお面の型です。この石膏型は数年使っているとひび割れてしまったり、表面に

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一四年八月一三日発行（SSKKP通巻五七九四号）

ペレット製造始まりました

就労日の出舎では、昨年度東京都の受注促進・工賃向上設備整備費補助事業補助金を活用し、木質ペレット製造機「ペレタイザー」を導入しました。

ご存知の方もいらっしゃると思いますが、木質ペレットはペレットストーブの燃料となります（イメージとしては薪ストーブに近いものとなります）。化石燃料である灯油の代替となる次世代再生可能エネルギーです。ペレットの原材料となる木材は丸太から柱や板を製材した時に出る「おが屑」で、木材を余すことなく使い切ることができ、ペレットが燃え、空に消えたCO₂は、森林に再び吸収され、木が育っていきます。大気中のCO₂を抑え、地球温暖化の防止にもなります。遠くの国からくる石油にかえて、近くの森林で産まれるエネルギーで、心豊かにくらすことはとても素敵なことだと思います

（※一部、東京木質資源活用センターHPより引用）。

当初、日の出舎の敷地内で製造する予定でしたが、製造機が大きく現存の建物内で作業を行うには効率が悪いので、当分の間、ペレットの原材料を提供して頂く浜中材木店の工場の一部をお借りし、製造することとなりました。浜中材木店で製材中に発生した杉や松のおが屑を利用して、月12,000kgのペレット製造量を当面の目標としています。製造したペレットは、10年以上前からペレット製造販売を行っている「東京木質資源活用センター」へ納品し、多摩地域を中心に、関東全域に販売されることとなります。

地域の企業と連携を図り、再生可能エネルギーであるペレットを製造することで、東京の森林再生に少しでも協力することが、木工を20年以上続けてきた日の出舎が

地域の中で果たすべき役割であると強く感じています。ペレット製造に向けて全面的なバックアップをして下さった「浜中材木店」「東京木質資源活用センター」の皆様方、本当にありがとうございます。そして、今後とも末長くお付き合いの程、よろしくお願い致します。

（加藤 圭介）

【ペレット販売はこちらから】

東京都青梅市沢井1-4-12

TEL 042 (597) 3742

東京木質資源活用センター

【原材料提供会社】

東京都西多摩郡日の出町大久野

854-3

TEL 042 (597) 0722

浜中材木店



①浜中材木店による製材加工



②製材加工で出たおが屑



③ペレタイザーでペレットを製造



④どんどん出てきます！



⑤この袋で約 600kg !



⑦しっかり封をして完成です



⑥袋に詰めて計量します